



三豊中学校の歴史

私が三豊中学校に赴任して、2年が過ぎようとしています。三豊中学校については、丘の上に立派な校舎があり、坂の横に「三中」という刈り込みがあるのは、坂の下の道路からよく見えていました。しかし、実際に校舎に入ったのは、2年前が初めてでした。そこで三豊中学校の歴史について、記念誌等を読んで調べてみました。

「遠くは阿讃国境の山々を背景とし、近くは財田川の清流潺湲として燧灘に注ぐ、眺望よく展け、七宝の翠巒三豊の沃野内海の島々を一望の中におさむことを得、ここ緑濃き希望の地西光寺丘に毅然と建てるが我が三豊中学校である。」と沿革史冒頭に牧野初代校長が書かれているとおりの恵まれた環境に本校はあります。戦後の学制改革により、6・3制が実施されて間もない昭和23年頃から各村の中学校統合の話がもちあがり、関係者の献身的な尽力によって、昭和25年4月に「三豊郡中部五か村立三豊中学校」が開校されました。その後、昭和38年に体育館、40年にはプールも建設され、神田地区の1年生も入学し、当時の6小学校区になりました。

昭和50年からの校舎改築により、卒業生の思い出深い木造校舎は跡形もなく、運動場と校舎の位置が逆になり、52年に新校舎竣工。平成元年に新給食場、7年に希望が丘体育館が竣工し、完備した施設を生かして本校教育も一層充実してきました。平成18年、町合併により「三豊市観音寺市学校組合立三豊中学校」と校名を変更。23年には、教室に空調設備が設置されました。そして、先輩各位の築かれた伝統と校風は、正門に青々と茂っている2本の榎の大樹のごとく深く広く根を下ろしています。

三中生が明るく元気で、礼儀正しく、頑張っている姿を見ていただくことで、地域の方が元気になってくださる。そんなことができればいいなあと思います。そのためには、自分を大切にすること、今を大切に生きること、そして、これからの後輩たちに、よりよい学校として三豊中学校を引き継いでいくことを、生徒・教職員・保護者の皆様、みんなが力を合わせてやらなければならないと思います。



希望が丘体育館の改修工事をしています

昨年11月から希望が丘体育館の空調設備設置、照明のLED化、屋根の改修、その他修繕の必要などところの工事を行っています。照明、屋根、その他の工事については、1月に終わります。空調設備設置工事は、2月中に完了予定です。体育館は2月から使用可能です。しかし、空調設備設置工事が終わるまでは出入りが制限されるので、注意してください。

様々なご意見 ありがとうございます

2学期末のアンケートにおいて、様々なご意見をくださり、ありがとうございました。私たちの状況をご理解くださり、多くの方から温かいお言葉を頂戴しました。心から、感謝申し上げます。

教科指導については、授業改善はもちろん、各種ドリルや三中検定の内容・実施方法なども見直し、基礎・基本の定着を徹底させることを全職員で確認しました。ご家庭でも、ノートやワークなど、お子さんがどのように学習に取り組んでいるかを、時々ご確認ください。幸いです。

交通指導については、学校でも繰り返し指導をし、補導にも回っていますが、十分な効果が出ていないのが現状です。今後も引き続き指導するとともに、道徳教育のさらなる充実など、命の大切さや決まりを守ることの重要性などについても指導して参ります。しかしながら、ご家庭でのご指導に勝るものはないと考えますので、よろしくお願いします。

部活動の指導については、地域展開の状況を顧問がしっかりと把握し、保護者に説明することと、今の指導状況について、顧問、副顧問で再度確認するように伝えました。

その他のご意見につきましても、真摯に受け止め、対応して参りますので、今後とも、ご協力をお願いいたします。